

急性期病院における高齢者の尊厳を守る看護実践
コロナ禍でも
高齢者の望みをくみ取る排泄ケア

2021年12月19日（日）

9：30～12：30

会場：ZOOMによるオンライン開催

急性期病院において、生活像のアセスメントが十分ではなく、1日の中でも援助機会が多い排泄ケアは、安全かつ効率であるケアが特に優先され、高齢者の機能低下を来たしている現状があります。また排泄ケアは、疾患に伴う身体機能の支障や認知機能低下に伴い、高齢者が人の手を借りて排泄せざるを得ない状況が多く、ケア自体が高齢者にとって恥ずかしく苦痛となるため、自尊心に配慮した対応が不可欠です。

この研修は、コロナ禍の状況下でも、安全・効率・スピードが求められる急性期病院において、立ち止まり、高齢者の尊厳を守る看護実践とは何かをあらためて考える機会にしたいと思えます。

対象者：急性期病院で働く看護管理者・看護職者

30名

プログラム：1. 講義・実践報告

- ・認知症看護CN育成における排泄ケアの教育内容
- ・老年看護CNSによる実践報告

2. グループワーク

お申し込み：締切 2021年12月10日（金）

*裏面の注意事項をご確認のうえ、下記の方法でお申し込みください。

参加費

会 員：2,000円

非会員：3,500円

インターネット

一般社団法人日本老年看護学会公式サイト

(<http://www.rounenkango.com>) よりお申し込みください